

通常の学級における包摂力のある好事例

【キーワード】	学級と通級による指導の連携、自立と社会参加へのステップ
【学校、学年】	高等学校 【2】年
【状況、様子 等】	<p>○通級による指導を利用している生徒が2人在籍している。</p> <p>○1年時、通級体験を通して、次のような学習に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒A:コミュニケーション力の向上を目指して、カードゲームを通して、コミュニケーションの場を設定し、コミュニケーションの経験を積んだ。 ・生徒B:買い物で支払う際、値札の2つの数字(税込と税別)のどちらを見たらよいか分からなかったため、判断に迷う場合には数の大きい方を基準に選んで支払う模擬的な経験を行った。 <p>○2年時の様子等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒A:初めての場面では固まってしまう姿が見られるが、見通しを持つようにすると、活動に参加できる。見通しの持ちにくい場面では、トイレに行ってしまう。 ・生徒B:遅刻が多くなる時期があったが、本生徒に聞き取りを行うと、自分で対策を考えて対応し、徐々に回数が減っている。
【対応・工夫】 支援、 合理的配慮、 基礎的環境整備、 学級経営、 支援体制 等	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動の個別の指導計画を策定する際、通級担当者、支援員、学年の特別支援教育コーディネーターだけでは、自立活動で取り組むべき中心課題を見出すことが難しかったため、担任も一緒に取り組んだ。(支援体制) ・自立活動の時間に取り組むべき内容と在籍する学級で取り組める内容とに分け、誰がどの時間に何をするかを明確にした。(学級経営) ・学級では、1日のスケジュールや活動の流れの提示、シングルタスク(考える時間と話し合いの時間を分ける等)、安心して自分の考えを伝えられるような工夫(付箋の用意やワークシートの工夫等)を行った。(合理的配慮) ・タイマー等を使って残り時間の視覚化をした。(合理的配慮)
【結果、変容 等】	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭に向けての学級での話し合いの際、シングルタスクで取り組めるよう考える時間と話し合いの時間を分けた。また、話し合いの終わりの時間を設定し、板書をして提示すると、生徒Bが自分からさまざまな提案をし、積極的に活動に取り組むことができた。 ・生徒Aは、インターンシップにおいて、懸命に掃除をする姿に評価が上がった。 ・生徒Bは、遅刻がなくなった。 ・担任が通級で取り組んでいることを気にかけて、積極的に学級経営に取り入れているため、それぞれの生徒の成長につながった。